

2019年 6月 18日

鹿児島大学病院 消化器内科で

体組成分析の検査を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 消化器疾患患者に対する体成分分析装置を用いたサルコペニア
評価と治療効果・有害事象・予後予測に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科
教授 井戸 章雄

【研究の目的】

加齢や疾患によって筋肉量が減少した状態をサルコペニアと呼び、身体機能や生命予後に影響を及ぼす要因として、様々な疾患で関係性が報告されています。特に消化器癌を中心とした担癌患者においては、サルコペニアが術後合併症や長期予後不良のリスクになることも指摘されており、その他消化器疾患との関連についても研究が進められています。

この研究では幅広く消化器疾患の患者様を対象に、体組成分析の機器を用い

て、筋肉量や体脂肪量などを測定し、サルコペニアの合併が原疾患の治療成績や合併症、長期予後にどのような影響を及ぼすか調べます。さらに、そのデータを活用し、同じ病気に対する治療や患者さんの生活の質の改善に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

消化器疾患と診断された患者さんの性別や年齢、身長・体重、疾患名、治療内容や治療による合併症、予後のデータを集積します。さらに定期的に体成分分析装置で骨格筋量や体脂肪量などを測定し、それらのデータと診療録（カルテ）の経過記録や血液検査結果を統合し、それぞれの関連性を調べていきます。

【対象となる患者さん】

2018年1月1日から2028年12月31日までに鹿児島大学病院消化器内科で消化器疾患と診断され、体成分分析の検査を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別や年齢、身長・体重、疾患名、治療内容や治療による合併症、予後のデータ、さらに治療開始前後に体成分分析装置で骨格筋量や体脂肪量などを測定し、それらのデータを集積・活用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学の研究費（使途特定寄附金）

で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し実施します。企業等の第三者機関から資金提供や労務提供は受けていないので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

助教 有馬 志穂

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504